

新市立病院の救命・周産期医療  
について

**問** 長崎大学病院が救命救急センターの設置や新生児集中治療室（NICU）の病床を大学に集約するという報道があるが、これが新市立病院の計画にどのような影響を及ぼすのか。

**答** 新市立病院の計画に部分的な影響は出てくる。今後は、長崎大学のみとの協議ではなく地域医療検討会の中で、新市立病院が担う救命・周産期医療の内容を十分協議し、地域医療という観点で最優先に考えていきたい。

大河ドラマ「龍馬伝」を活用した緊急経済対策について

**問** 緊急経済対策として大河ドラマ「龍馬伝」を活用することは即効性があり今後の継続性も出てくる。観光という切り口で経済対策を練り上げることにどのように考えるか。

**答** 「龍馬伝」を観光やまちづくりの面で活かすために、大河ドラマ終了後もさるくコースやアクセス等の仕組みを残していくことが大事であると考え。来崎した方々に龍馬以外の長崎の

定住自立圏構想（中心市）について

**問** 地方再生の取り組みとして、中心市と周辺市町村が協定により役割分担する定住自立圏構想において、本市は中心市として既に役割を担っているが、どうして中心市宣言を行わないのか。市長の見解を伺いたい。

**答** 合併地域の特例措置として、旧市を中心市とみなし、旧合併町を周辺自治体とする一市圏域での取り組みも可能とされているので、先行実施団体の状況を見ながら、構想の推進に向け積極的に検討していきたい。

地球温暖化と防災対策について

**問** 地球温暖化による海面上昇は本市にも影響を与える。今年8月から9月頃に潮位の上昇が予想されているが台風と重なった場合、高潮による浸水被害が発生する可能性があるがその対策はどのようなものか。

**答** 高潮に対するハード整備は過去のデータをもとに設計がなされているので、台風と潮位上昇が重なり予想を超えた高潮が発生した場合は、ソフト面での対策が重要となる。日頃の備えが必要なことから、市民の防災意識の浸透を図っていきたい。

学校選択制の見直しについて

**問** 学校教育に関わる多くの人々から学校選択制の問題点が指摘されているにもかかわらず市教委は制度を存続している。前橋市は地域との関係の希薄化等の理由で撤退したが、学校選択制を大幅に見直す考えはないのか。

**答** 学校選択制利用者の半数以上が指定校より遠い学校に通学するという当初想定していなかった状況も出てきたので、今後は学校ごとの調査結果の分析を進めるとともに、地域の中で子どもが育つという視点も真摯に受け止め見直しを図っていきたい。

学校現場における問題点と長崎市の対応について

**問** 学校は、生徒や家庭との信頼関係が大切に誠意を持って対応しなければならぬ。市内中学校の生徒の自殺に対する教育委員会の対応について市長の見解を伺いたい。

**答** 生徒指導の中で行われた自殺ということで学校現場、教育委員会に大きく突き付けられた問題と認識している。二度と繰り返すことがないように今後の生徒指導の対応に全力を尽くしていきたい。

（個人質問）

市民クラブ

経済成長戦略の実施状況について

**問** 厳しい経済情勢の中、国においては、緊急経済対策が打ち出され、大型の経済対策が実施されようとしているが、平成20年3月に策定された長崎市経済成長戦略に沿った具体的な施策の展開はどのように考えているのか。

**答** 地場企業の経営力向上に繋がる人材育成を積極的に進めていきたい。また、販路開拓は非常に重要と考えている。今後も企業と危機感を共有しながら、経済成長戦略に基づく経済対策の推進を図っていききたい。

一般質問

6月定例会では、6月10日から6月15日までの4日間にわたって、個人質問（18人）が行われ、当面する市政の重要課題について活発な論議が交わされました。今回の質問では議員ごとに1項目ずつ計18項目を掲載しています。